



(2) 事業・取組の実績

平成 26 年度の事業・取組の具体的な内容や効果を、写真、図表等を用いて説明します。

ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む**1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り**

- 市内に残るまとまりのある緑地を保全して次世代に引き継ぐため、緑地保全制度による地区指定を積極的に進めます。
- 特別緑地保全地区等の指定地で、土地所有者の不測の事態等による買入れ申し出に対応します。
- 市民の森において、市民が親しめるような散策路などの整備を行います。また、市が取得した樹林地での柵の設置などの初期整備を行います。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
	緑地保全制度による新規指定	101.7ha	100 ha
	不測の事態による買取希望等への対応	18.2ha	18.4ha

■ 緑地保全制度による新規指定【詳細】

制度	新規指定等	
	面積	地区詳細
特別緑地保全地区	40.7ha	東寺尾六丁目地区（鶴見区）0.9ha、片倉三丁目地区（神奈川区）1.0ha、野庭・上永谷地区（港南区）1.1ha、今井町多子谷地区（保土ヶ谷区）2.1ha、市沢町日向地区（旭区）0.6ha、上川井町堂谷地区（旭区）3.5ha、上白根町小池地区（旭区）2.4ha、川島町二ノ沢地区（旭区）0.8ha、朝比奈地区（金沢区）3.9ha〈拡大指定〉、六浦東三丁目地区（金沢区）0.6ha、小机城址地区（港北区）0.1ha〈拡大指定〉、北八朔町北地区（緑区）1.0ha、三保町東谷地区（緑区）2.9ha、三保町杉沢堰地区（緑区）0.6ha、恩田町地区（青葉区）4.2ha、恩田町九郎治谷地区（青葉区）0.7ha、恩田町番匠谷地区（青葉区）1.4ha、恩田東部地区（青葉区）4.7ha〈拡大指定〉、鉄町富士塚台地区（青葉区）0.8ha、大榎町地区（都筑区）0.5ha、下倉田町地区（戸塚区）1.4ha、上郷・中野地区（栄区）2.4ha〈拡大指定〉、和泉町早稲田地区（泉区）1.8ha、阿久和南一丁目地区（瀬谷区）1.3ha

3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績 - ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

制度	新規指定等	
	面積	地区詳細
市民の森	22.4ha	上川井地区（旭区）10.1ha 富岡東三丁目地区（金沢区）1.4ha 【既指定地区の拡大指定】計 10.9ha
緑地保存地区	11.9ha	31 地区 11.9ha
源流の森保存地区	22.6ha	49 地区 22.6ha
寄附緑地等	4.1ha	【寄附緑地】3.8ha、【農園付公園】0.3ha
【合計】	101.7ha	



【写真】恩田町特別緑地保全地区（青葉区）



【写真】川島町二ノ沢特別緑地保全地区（旭区）

■ 買入れ申し出への対応【詳細】

制度	地区名	区名
特別緑地保全地区、 近郊緑地特別保全地区	獅子ヶ谷・師岡地区	鶴見
	三枚町地区	神奈川
	菅田町出戸谷地区	神奈川
	芹が谷五丁目地区	港南
	川島地区	保土ヶ谷
	市沢町地区	旭
	猪子山地区	旭
	上川井町堀谷地区	旭
	峰地区	磯子
	綱島地区	港北
	鴨居四丁目地区	緑
	西八朔町藤林地区	緑
	恩田東部地区	青葉
寺家地区	青葉	



(2) 事業・取組の実績 - ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

制度	地区名	区名
特別緑地保全地区、 近郊緑地特別保全地区	池辺町滝ヶ谷戸地区	都筑
	池辺町八所谷戸地区	都筑
	飯島町地区	栄
	鍛冶ヶ谷地区	栄
	公田・荒井沢地区	栄
	古橋地区	泉
	大丸山地区	栄
市民の森等 	獅子ヶ谷地区	鶴見
	東寺尾地区	鶴見
	峯地区	磯子
	篠原城址地区	港北
	新治地区	緑
	深谷地区	戸塚
	瀬上地区	栄
	新橋地区	泉
	瀬谷地区	瀬谷
【合計】	30 地区 18.2ha	





【写真】三枚町特別緑地保全地区
(神奈川区)



【写真】瀬谷市民の森(瀬谷区)

2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

- 森づくりガイドライン等を活用し、生物多様性の保全や利用者などの安全確保のため、愛護会などと連携して森づくりを推進します。
- 愛護会などと連携し、森ごとの具体的な管理の計画を定める「保全管理計画」を策定し、森づくりを推進します。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
	森づくりガイドライン等を活用した維持管理の推進 【市民の森等】 【まとまった樹林地のある都市公園】	109 か所 11 か所	推進 推進
		保全管理計画の策定の取組み 【市民の森等】 【まとまった樹林地のある都市公園】	3か所 5か所

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

市民の森、市有緑地及び都市公園内のまとまった樹林地を対象に、維持管理の技術指針である「森づくりガイドライン」や森ごとに定めた「保全管理計画」に基づき、草刈や間伐等の維持管理を実施しました。



【写真】維持管理を実施した樹林地
(左：青葉区/もえぎ野ふれあいの樹林 右：緑区/北八朔公園)

■ 保全管理計画の策定

森ごとに具体的な管理の計画を定めた「保全管理計画」を、愛護会などと連携して策定しました。



	策定か所	区名
市民の森等	関ヶ谷市民の森	金沢
	もえぎ野ふれあいの樹林	青葉
	上郷市民の森	栄
まとまった樹林地のある都市公園	久良岐公園	港南
	北八朔公園	緑
	玄海田公園	緑
	鴨池公園	都筑
	瀬谷貉窪公園	瀬谷



【写真】保全管理計画策定の様子
(栄区/上郷市民の森)

3 指定された樹林地における維持管理の支援
4 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上

- 緑地保全制度により指定した私有樹林地の外周部などの危険・支障樹木の管理作業を支援します。
- 防災や安全面の対策が必要な緑地の法面を対象に、生物多様性にも配慮した法面整備を推進します。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
 樹林地保全制度に指定している私有樹林地の維持管理の助成	132 件	130 件	650 件
 市民の森等の斜面地での生物多様性に配慮した法面整備	施工中 1 か所	2 か所	10 か所

■ 指定された樹林地における維持管理の支援

緑地保全制度により指定した私有樹林地の外周部において、隣接する住宅や道路等に対して危険な樹木や電線等の支障になっている樹木のせん定・伐採、火災や不法投棄等の恐れがある草地の草刈等の維持管理費用を助成しました。

<区別実績>

区名	件数	区名	件数
鶴見	3	金沢	10
神奈川	1	港北	11
西	2	緑	8
中	4	青葉	8
南	2	都筑	12
港南	10	戸塚	18※
保土ヶ谷	9	栄	10※
旭	9	泉	4
磯子	5	瀬谷	7
		合計	132

※戸塚、栄区をまたがる実績が 1 件あり、合計が一致しません。



【写真】
作業前（上）と
作業後（下）
（港南区）

■ 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上


危険な斜面地がある上山・白山特別緑地保全地区（緑区）において、防災や安全面の対策工事を実施しています。

3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績 - ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

5 間伐材の有効利用

- チッパーの貸出しなどにより、間伐材の有効活用を推進します。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5 か年目標
	森づくり活動団体へのチッパーの貸出し	20 回	推進

■ 間伐材チップ化作業支援

市民の森等で活動する森づくり活動団体の維持管理活動により生じた間伐材をチップ化して園路に敷くなど有効活用を図るため、チップ化作業の支援を行いました。

実施か所	区	回数
川井特別緑地保全地区	旭	4
緑地保存地区（能見台東）	金沢	4
もえぎ野ふれあいの樹林	青葉	4
茅ヶ崎公園	都筑	2
古橋特別緑地保全地区	泉	2
源流の森（和泉町）	泉	4
【計】		20



【写真左】チップ化作業支援の様子/【写真右】集積したチップ
(青葉区/もえぎ野ふれあいの樹林)



間伐材チップ化作業支援を利用した森づくり活動団体の声



- ・森づくり作業で発生した材をチップにすることで、森もきれいになるし、園路も歩きやすくなった。

■ 間伐材利活用方法の検討

市内で発生する間伐材を広く多くの方に知ってもらうため、広報ツールの検討を行いました。


6 森づくりを担う人材の育成

- 森づくり活動に取り組む団体のスキルアップにつながる研修を実施します。
- 森づくりボランティア登録者を対象とした研修を開催するとともに、ボランティアが森づくり活動団体へ加入するための橋渡しを行います。
また、森づくりに関する情報発信を行います。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	＜参考＞ 5 か年目標	
	森づくり活動団体向けの研修の実施	16 回	推進	推進
	森づくりボランティアへの情報発信、広報・PR の充実	推進	推進	推進

■ 森づくりを担う人材を育成するための研修

研修名	回数	対象者	
		団体	登録者
「リーダー養成講座」	2 回	○	
「これも覚えよう！30 種」(スキルアップ講座)	6 回	○	○
「調査・モニタリング研修」(スキルアップ講座)	1 回	○	
「作業実習」(スキルアップ講座)	1 回	○	
「救急救命講習会」(スキルアップ講座)	1 回	○	
「森づくりボランティア基本研修」(必須研修)	2 回	○	
「森づくりボランティア入門講座」	3 回		○
	【計】	16 回	


 研修参加者の声

- ・多様な生きものが見られる環境にするにはどうしたら良いのか分かった(これも覚えよう！30 種)
- ・KY 活動は何度受けても良いので継続的に開催してほしい。(森づくりボランティア基本研修)

■ 森づくりボランティアの橋渡し

森づくり活動団体や森づくりボランティアによる検討会議を開催し、橋渡しの課題や今後の方向性について、共有化を図りました。

■ 森づくりに関する情報発信

森づくりボランティアや森づくり活動団体に向けた森づくりに関する情報発信として、『よこはまの森ニュースレター』を年間で4回発行しました。




【写真】「これも覚えよう！30 種 初冬の木の実」の様子
(緑区/新治市民の森)

＜支援対象＞(平成 26 年度末時点)

森づくり活動団体	66 団体
森づくりボランティア	111 人

7 森づくり活動団体への支援

- 市民の森や都市公園内の樹林で活動する団体を対象に、森づくりに必要な道具の貸出しを行います。また、活動に対する助成や、専門家派遣による支援を行います。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
	森づくり活動団体への支援		
	【森づくり活動団体への支援】	22 団体	10 団体 延べ50 団体
	【公園内のまとまった樹林地で活動する公園愛護会への支援】	7 団体	10 団体 延べ50 団体

■ 活動に対する助成

団体の活動記録をまとめ、広く地域の方に配布するための記念誌作成や、森づくり活動の内容や成果、参加の募集などについて地域に向けて発信するための広報誌作成に対して、助成を行いました。

■ 道具の貸出し

カマやノコギリといった樹林地を管理するための道具や、救急セットなど安全対策用の道具、腕章や帽子など活動を PR するための道具の貸出しを行いました。

■ 専門家の派遣

団体が抱える課題の解決に向け、専門家（アドバイザー）派遣による支援を行いました。


	団体	派遣内容
市民の森等	鍛冶ヶ谷市民の森愛護会	危険斜面地における樹木管理の手法と意義
	今宿市民の森愛護会	ホタルの生息を目標にした湿地の環境整備
	綱島市民の森愛護会	植生調査及び健全な樹林とするための更新計画
	市民の森等愛護会、森づくり活動団体	活動団体による検討会議の開催（橋渡しの課題や今後の方向性について共有）
公園	陣ヶ下自然愛好会	植生調査のとりまとめ方法
	茅ヶ崎公園愛護会	生物多様性を向上させる林床管理手法



【写真】アドバイザー派遣による支援の様子
（左：栄区/鍛冶ヶ谷市民の森、右：都筑区/茅ヶ崎公園）

8 森の楽しみづくり

- 森に関わる市民の裾野を広げるため、森に関するきっかけとなる親子で参加できるイベントや広報活動を展開します。
- 森を楽しむためのプログラムを自ら企画・運営できる人材を育成するための講座などを開催します。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
森に関わるイベント等の実施	107 回 (9,730 人)	36 回	180 回
樹林地を利用したウォーキングイベントの開催	9 回 (182 人)		
間伐材を活用したクラフト教室の開催	66 回 (5,604 人)		
 親子で参加できる森に親しむイベントの開催	20 回 (3,845 人)		
図書館と連携したイベントの開催	5 回 (99 人)		
森に関わるきっかけづくりパネル展示の実施	7 回 (一 人)		
インタープリター養成講座の開催	全 8 回 (26 人が修了)		

■ 樹林地を利用したウォーキングイベントの開催

市民の森やふれあいの樹林を等を利用したウォーキングイベントを開催しました。



ウォーキングイベント開催区		
中区	港南区	保土ヶ谷区
金沢区	金沢区 (中区主催)	港北区
都筑区	青葉区	瀬谷区・旭区

【写真】

- ・「みどりアップ健康ウォーキング」の様子
(港北区/熊野神社市民の森)

3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績 — ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

■ 間伐材を活用したクラフト教室の開催

間伐材に触れ、楽しみながら森づくりについて学ぶクラフト教室を市内各所で開催しました。



参加者の声

- かわいいテントウムシを作ることができて満足！
- 地域のイベントでも昆虫キーホルダーを活用したい。
- 色を塗るのが楽しかった。

【写真】

• 森の恵みクラフト教室（南区/南区民まつり）

■ 親子で参加できる森に親しむイベントの開催

市内大学と連携した「森の楽校」や夜の森を探検する「生き物ウォッチング」など多くの市民を対象とした様々なイベントを開催しました。



参加者の声

- 横浜の都市のイメージだけでなく、自然の豊かさという別の一面に触れることができ、有意義でした。
- 夜の森を歩いて楽しかったです。森は自然を守っていることがわかりました。

【写真】「よこはま森の楽校～フェリス女学院大学で
チョウがつなぐ緑のネットワーク調査～」の様子
（泉区/フェリス女学院大学）

■ 図書館と連携したイベントの開催・パネル展示の実施



子どもたちが木とふれあい、遊びを通して自然や生き物に対する理解を深め、森林環境を考えることが出来るプレイパークイベントを市内5館の図書館と連携して開催しました。

また、森に関わるきっかけづくりのパネル展示を市内7館の図書館で実施しました。

【写真】

• 「森の中のプレイパーク」の様子（都筑区/都筑図書館）

■ 自然解説、プログラムリーダーの育成



森を楽しむためのプログラムを自ら企画・運営できる人材を育成するための「インタープリター養成講座」を実施し、26人が講座を修了しました。

【写真】「インタープリター養成講座」の様子
（保土ケ谷区/環境活動支援センター）



9 森に関する情報発信

- 市民の森・ふれあいの樹林のガイドマップを作成し、市民が気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりを推進します。
- ウェルカムセンター5館を運営し、市民が森について理解を深めるための取組を推進します。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
	ガイドマップ作成	3地域	新規に指定された市民の森等を対象に作成
	ウェルカムセンターの運営	推進	推進

■ ガイドマップの作成

ウォーキング等の散策にも活用できるよう、近接する市民の森、ふれあいの樹林を1枚にまとめたガイドマップを作成しました。

パンフレット作成地域	区
鍛冶ヶ谷市民の森	栄
南本宿市民の森・市沢ふれあいの樹林・境木ふれあいの樹林	旭、保土ヶ谷
今宿市民の森・鶴ヶ峰ふれあいの樹林	旭



【写真】南本宿市民の森、市沢ふれあいの樹林、境木ふれあいの樹林ガイドマップ

■ ウェルカムセンターの運営

市内5館にあるウェルカムセンターでは、各館の特徴を生かしながら「森の情報提供」、森を知り、楽しむための講座等を開催する「普及啓発・環境教育」を行いました。



【写真】森の情報提供
(栄区/横浜自然観察の森自然観察センター)



【写真】「森を知り楽しむための講座」の様子
(保土ヶ谷区/環境活動支援センター交流スペース)

3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

10 水田の保全

- 横浜に残る貴重な水田景観を保全する取組を推進します。
- 水田景観を保全するために必要な水源を確保するため、まとまりのある水田がある地区を対象に、井戸の設置を支援します。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
	水田保全承認面積 (うち平成 26 年度新規承認面積)	119.7ha (2.5ha)	120ha 125ha (平成30年度末)
	水源の確保	1か所	2か所 10か所

■ 平成 26 年度水田保全承認面積の区別内訳

区名	面積 (うち新規)	区名	面積 (うち新規)	区名	面積 (うち新規)
神奈川	0.1ha	港北	1.1ha	戸塚	9.3ha (0.1ha)
港南	0.6ha	緑	35.5ha (1.4ha)	栄	2.6ha
保土ヶ谷	0.2ha	青葉	36.9ha (0.1ha)	泉	21.4ha (0.7ha)
旭	0.9ha	都筑	7.3ha (0.1ha)	瀬谷	3.6ha (0.1ha)
				計	119.7ha (2.5ha)

※四捨五入の関係により面積の合計は 119.7ha (2.5ha) と一致しません。



【写真】夏の水田(栄区)



【写真】秋の水田(緑区)

■ 水田保全の維持に必要な井戸の設置を支援しました。

水稻作付の継続に必要な水を確保するための井戸の設置を支援しました。

井戸施設設置：1か所(緑区)




【写真】井戸設置を支援した水田(緑区)



【写真】井戸施設(緑区)

11 特定農業用施設保全契約の締結

- 市と契約を結び、市長に指定された「農業用施設用地」の固定資産税・都市計画税を10年間軽減します。

◆平成26年度の実績		平成26年度 目標	<参考> 5か年目標
	特定農業用施設保全契約の締結件数	12件 (1,348㎡)	制度運用

■ 農業用施設の指定基準

- (1) 全て農業用に使用されている施設。
- (2) 施設の一部が農業以外の用途に使用されている場合は、以下の要件を満たす施設。
 - ・農業専用部分と非農業専用部分が壁などで明確に分かれていること
 - ・農業専用部分の床面積の合計が延床面積の2分の1以上であること
 - ・二階建て以上の場合、1階はすべて農業専用であること



【写真】指定された農業用施設（鶴見区）



【写真】指定された農業用施設（戸塚区）

■平成26年度区別指定一覧

No.	区名	件数	指定面積
1	鶴見	1件	189㎡
2	神奈川	1件	120㎡
3	保土ヶ谷区	1件	75㎡
4	旭	1件	145㎡



四捨五入のため、内訳と合計は一致しません

No.	区名	件数	指定面積
5	緑	1件	20㎡
6	戸塚	4件	455㎡
7	泉	2件	276㎡
8	瀬谷	1件	67㎡
	合計	12件	1,348㎡

契約農家の耕作面積（保全される面積）：12.1ha

12 農景観を良好に維持する取組の支援

- 生物多様性の保全に配慮し、周辺環境と調和した良好な農景観を保全・形成するため、地域の農家が組織する団体の維持・管理の取組を支援します。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
	良好に維持されている農地の面積 (支援した団体)	704.3ha (52 団体)	680ha (平成30年度末)
	田園景観保全水路整備	1 地区	5 地区
	共同利用設備の整備	2 件	25 件

■ 農地とその周辺の農景観保全のための活動を支援しました

まとまりのある農地の維持管理活動を行っている、各地区の農家団体を支援するとともに、農地周辺部の道路・水路の清掃・草刈りや、景観植物の植栽・管理といった取組に対して支援を行いました。

①	農地維持管理団体への支援	52 団体
②	道路・草刈りを行う団体への支援 ※	46 団体
③	景観植物の植栽・管理を行う団体への支援 ※	5 団体

※②・③は、①の団体のうち、当該の取組を行っている団体に対する支援です。



【写真】地域団体により保全されている農景観（戸塚区）

■ 水路機能の維持のための水路改修および生物等環境に配慮した水路整備を支援しました

老朽化し、機能が低下している水路の改修と併せて、生物等環境に配慮した水路整備について支援を行いました。



【写真】水路整備により保全をはかった水田（戸塚区）

■ 共同利用施設の整備

農業活動により生じるせん定枝や作物残さ等を堆肥化してリサイクルに取り組む団体に、必要な機械や設備の導入を支援しました。


- ・瀬谷泉剪定枝堆肥化機械利用組合（瀬谷区）
- ・田谷地区堆肥化機械利用組合（栄区）



【写真】堆肥散布機（左）とせん定枝チップパー（右）（栄区）

13 多様な主体による農地の利用促進

- 意欲ある農家や新規参入を希望する企業等が農地を安定的に利用できるよう、農地を長期間貸し付ける場合、農地所有者に対し支援します。
- 遊休化した農地を市が一時的に借り受けて復元し、農地の利用を希望する担い手に貸し付けます。

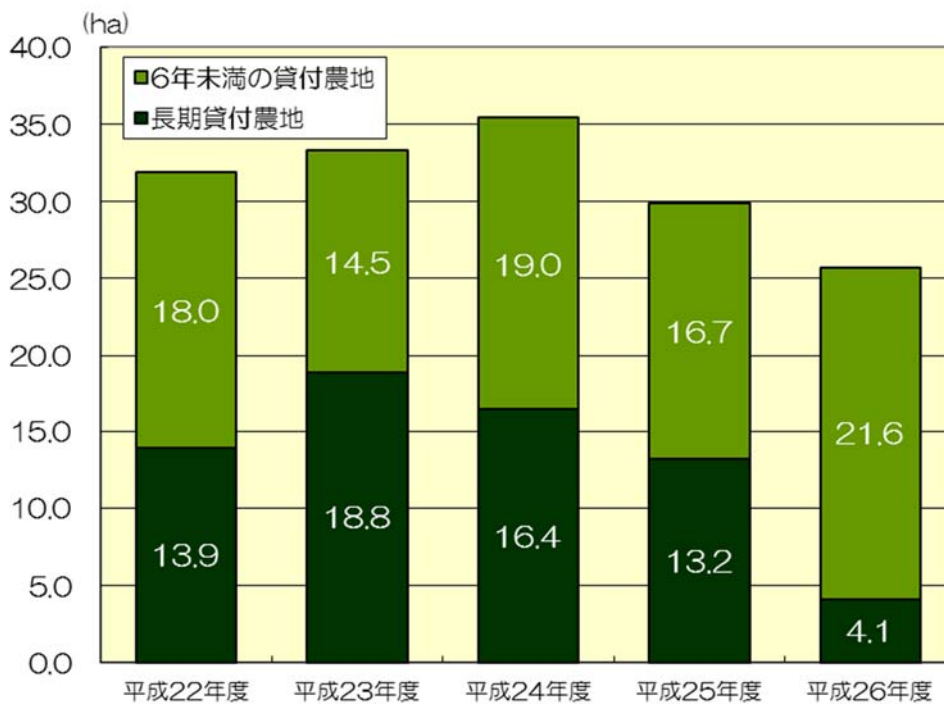
◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
 長期貸付開始農地 (累計貸付農地)	4.1ha (66.4ha)	2.0ha (64.3ha)	80ha (平成30年度末)

■ 市が仲介する農地貸借制度と長期貸借の推進について

経営規模拡大の意欲と能力のある農家等への農地の提供が円滑に行われるようにするため、農業経営基盤強化促進法に基づき、市が手続きを仲介する農地貸借制度を活用することで農地の流動化を促進しています。

この制度は、貸借期間が満了すれば確実に農地が返還されるため、農地所有者が離作料を負担することもないなど、農地所有者が安心して農地を貸せるような仕組みです。

農家等が農地を長期間借りられるようになることと今後の農業経営の見通しを立てやすくなり、農業経営の安定化に役立つため、市は6年以上の長期貸付を支援しています。



【図】長期貸付面積の推移

14 様々なニーズに合わせた農園の開設

- 収穫体験から本格的な農作業まで、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設支援や整備を進めます。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
●	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	5.7ha	25.8ha
	収穫体験農園の開設支援	1.5ha	12.5ha
	市民農園の開設支援	2.8ha	6.0ha
	農園付公園の整備	1.4ha (3か所)	7.3ha
		4.7ha	25.8ha
		2.5ha	12.5ha
		1.2ha	6.0ha
		1.0ha (3か所)	7.3ha

■ 収穫体験農園の開設支援

ナシ、ブドウなどの果樹園の整備支援を行い、農家が栽培した旬の果物や野菜を収穫体験できる農園が増えました。

農園開設整備の支援		
都筑区	1か所	0.04ha
戸塚区	2か所	0.28ha
瀬谷区	3か所	0.90ha

果樹苗木育成の支援	
2件	0.27ha

農園の内訳	か所数
ブドウ	3
ナシ	1
キウイ	1
ブルーベリー	1
イチゴ、トマト	1

※重複か所があるため、内訳と合計は一致しません。



【写真】イチゴの収穫体験・案内看板補助の温室
(戸塚区東俣野町)

■ 市民農園の開設支援

土地所有者が農園を開設するための支援を行いました。

特区農園…区画貸しタイプの市民農園

環境学習農園…児童・生徒などを対象に農家が指導を行う農園

区	特区農園	環境学習農園	計
神奈川	1,330 m ²		1,330 m ²
保土ヶ谷	1,465 m ²		1,465 m ²
旭	4,135 m ²		4,135 m ²
港北	3,011 m ²		3,011 m ²
緑	2,463 m ²		2,463 m ²
青葉	7,977 m ²		7,977 m ²
戸塚	3,187 m ²	903 m ²	4,090 m ²
栄	708 m ²		708 m ²
泉	2,783 m ²		2,783 m ²
計	27,058 m ²	903 m ²	27,961 m ²



【写真】環境学習農園（戸塚区）

※四捨五入のため、内訳と合計は一致しません。

■ 農園付公園の整備

3か所（1.4ha）の農園付公園の整備を完了し、平成27年4月に開園しました。

区	公園名	面積(ha)
鶴見	東寺尾一丁目ふれあい公園	0.3
港北	師岡町梅の丘公園	1.0
泉	泉が丘公園（拡張）	0.1



【写真】
東寺尾一丁目ふれあい公園（鶴見区）



【写真】
師岡町梅の丘公園（港北区）







【写真】
泉が丘公園（拡張）（泉区）

3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

15 市民が農を楽しむ支援する取組の推進

- 市民と農家を結ぶ交流拠点である横浜ふるさと村や恵みの里を中心に、市民が農と触れ合う機会を提供します。
- 農家と地域住民の協働により、連携して地域の農環境の保全を図る取組を支援します。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
	農体験教室などの実施 (ふるさと村・恵みの里)	94 回	100 回
	【横浜ふるさと村】	13 回	14 回
	【恵みの里】	81 回	86 回
	農ある横浜・めぐりツアーの実施	3 回	4 回
	農のある地域づくり協定の新規締結	ワークショップ 開催 1 地区	ワークショップ 等開催 4 件
	農体験学習講座の開催	5 回	5 回
			25 回

■ 農体験教室などの実施に対して支援しました

横浜ふるさと村や恵みの里において、農家団体が実施した農体験教室等に対して支援しました。

<ふるさと村、恵みの里の開催実績>

場所	回数	詳細
舞岡ふるさと村	13 回	タケノコ・ジャガイモ掘り、農業イベント開催等
田奈恵みの里	27 回	米作り教室、農産加工教室、サツマイモ掘り等
新治恵みの里	28 回	米・大麦・小麦作り教室、農業イベント開催等
都岡地区恵みの里	19 回	もち米、小麦・サツマイモ作り教室等
柴シーサイド恵みの里	7 回	ミカン狩り、農業イベント開催等
合計	94 回	



【写真】田植え
(恵みの里の農業体験教室/旭区都岡町)



【写真】ジャガイモ掘り
(ふるさと村の収穫体験/戸塚区舞岡町)



【写真】うどん作り教室
(恵みの里の農産加工教室/青葉区田奈町)

■ 農ある横浜めぐりツアーを開催しました

市民に農業専用地区などの市内の農畜産物の生産現場や直売所を見学など、市内の農業を身近に感じるだけでなく、農業に対する理解も深めていただきました。

〈めぐりツアー開催実績〉

場所	時期	詳細
神奈川区	8月	農業専用地区の見学、浜なし・浜ブドウの収穫体験
泉区	9月	直売所の見学とサツマイモ掘り
神奈川区、都筑区	2月	野菜の栽培施設の見学、イチゴの収穫体験



【写真】コマツナ収穫の見学（都筑区）



【写真】浜なしの収穫体験（神奈川区）

■ 協定に向けてワークショップを開催しました

農家と地域住民の協働により地域農業を維持・保全していくための農のある地域づくり協定の締結に向けたワークショップを神奈川区で開催しました。



【写真】活動について意見を出し合う（地域づくり協定/ワークショップ）

■ 家族で学ぶ農体験講座を開催しました

小学生が家族と一緒に農業を学びながら体験する連続講座を環境活動支援センター（保土ケ谷区）内の畑で開催しました。ラッカセイやサツマイモの植え付けから秋の収穫まで、農作業を体験して、農業の大切さを楽しみながら知っていただきました。



【写真】ラッカセイの収穫



【写真】サツマイモ掘り

3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績 - イ 市民が身近に農を感じる場をつくる

16 地産地消にふれる機会の拡大

- 地域でとれた農畜産物などを販売する直売所の整備等の支援を実施するとともに、市民が楽しみながら農畜産物を購入できる青空市の運営を支援します。
- 市内の植木農家や花き農家が生産した苗木や花苗を、市民への配布や、公共施設や農地の縁辺部等への植栽に活用します。
- 地産地消キャンペーンなどのイベントの実施や、身近に農を感じる機会が少ない都心部の方を対象とした情報発信などを実施します。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
直売所等の支援 青空市の運営支援	4件	10件	52件	
	4件	5件	25件	
緑化用植物の生産・配付	27,533本 (154件)	26,000本	125,000本	
情報発信・PR活動	推進	推進	推進	

■ 個人直売所、加工所の備品導入へ支援を行いました

個人の直売所等に支援をすることによって、市民がより身近に新鮮な農畜産物を購入できる機会を提供することができました。また、青空市のイベント開催を支援し、直接生産者と交流し、地産地消を楽しむ機会を提供することができました。

■ 市内産の苗木・花苗をPRしました

市内産の苗木・花苗を市民に提供し、横浜の地産地消について紹介しました。

■ 情報発信・PR

「はまふうどナビ」等の情報誌・パンフレットの発行や市民が地産地消を身近に感じるためのイベントを実施しました。イベントの一つとして11月の「地産地消月間」には市民団体や企業等と連携し「よこはま食と農の祭典2014」をみなとみらい21地区で行いました。体験や試食のできるブースをはじめ、直売等を行い横浜の「農」の魅力に触れていただきました。



【写真】備品導入支援を行った直売所の様子





【写真】苗木配布の様子



【写真】「よこはま食と農の祭典2014」の様子

17 地産地消を広げる人材の育成

- 地産地消を広げるはまふうどコンシェルジュを育成するとともに、活動を支援します。
- 地産地消のフォーラムを、市民・企業等と連携して開催します。

◆平成 26 年度の実績			平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
	はまふうどコンシェルジュの活動支援	14件	20件	100件
	フォーラムの開催	1回	1回	5回

■ はまふうどコンシェルジュの活動支援を行いました

はまふうどコンシェルジュ個人および所属する団体が行う地産地消活動に対して奨励金の交付や、新規事業の経費を補助することにより、地域での地産地消活動が一層充実し、地産地消が推進されることを目的として実施しています。

平成 26 年度は奨励事業 12 件 補助事業 2 件の計 14 件の活動支援を行いました。



【写真】マルシェの様子（奨励事業）



【写真】スープコンテストの様子（補助事業）

■ 食と農のフォーラムを実施しました

様々な企業や人と連携し、横浜の地産地消のネットワークを強化し、市内産農畜産物等やそれらを利用した製品のブランド化、さらにその魅力を市内外に戦略的に発信していくための方向性を探るためのフォーラムを実施しました。

開催日時：平成27年2月4日（水）14時～17時

場所：ヨコハマ創造都市センター3F

来場者数：150人



【写真】フォーラムの様子



【写真】フォーラムの様子（トークセッション）

14:10～ 基調講演
 「あなたが地域を輝かせる 10 のヒント」
 太刀川 英輔 (NOSIGNER 株式会社 代表取締役)

15:20～トークセッション
 ファシリテーター：杉浦 裕樹
 (NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ 代表理事)
 太刀川 英輔 (NOSIGNER 株式会社 代表取締役)
 加藤 之弘 (野菜生産者)
 新田 理恵 (食卓研究家)

16:40～交流会 (自由参加・無料)

【資料】案内ちらし

18 市民や企業等との連携

- 地産地消を広げる「農と企業等との連携」のマッチングを行います。
- 市内の中小企業等を対象とした、地産地消に関するビジネスを創出するための支援を行います。
- 学校給食での市内産農畜産物の利用促進や食育の推進を図るため、企業等と連携した小学生の料理コンクールやパンフレットの配布などを実施します。

◆平成 26 年度の実績			平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
	企業等との連携	5件	5件	50件
	ビジネス創出支援	推進 (5事業選定)	推進 (5事業選定)	25件
	学校給食での市内産農畜産物の利用促進	推進	推進	推進

■ 企業等と連携しました。

企業と連携し、市内産農畜産物を使用した新商品の開発やマルシェの開催等を行い、市内産農畜産物のPRを図りました。

連 携 実 績 【連携件数：5件】	
みなとみらい地区ホテル等との連携による食と農の祭典の開催	11月
そごう等との連携によるマルシェの開催	4、7、11月
山崎製パン(株)との連携による新商品の企画及びPR	10月～12月
東京ガス(株)との連携による「地産地消・食育」をテーマとした料理教室の開催	11月27日
JR東日本との連携による横浜線沿線でのマルシェ開催等	通年

■ 地産地消のビジネス創出を支援しました。

地産地消をビジネスとして取り組みたいと考える事業者、新規創業者を対象にビジネスプラン策定を手助けするための育成講座を開催し、27年度に支援する事業を5件選定しました。

事業名	事業者	内容
地産地消の店 まごころふぁーむ	横山 宜美	こだわって栽培したトマト「サンロード」を使用したオリジナル商品の開発と販売。
旅するコンフィチュールギフト商品の開発	遠 克美	市内産農産物等、生産者から直接仕入れた旬の素材を使用したコンフィチュール(ジャム)のギフト商品の開発。
横浜野菜通信と オフィスに届ける サラダランチ	有澤 厚子	働く男性の野菜不足を補うサラダランチの開発。企業と契約を結び、横浜産の野菜情報とともに、オフィスにサラダランチをお届け。
横浜青みかん商品化 プロジェクト	奥井 奈都美	みかん栽培で発生する、摘果された青みかんを使用したドレッシングの商品開発と販売。横浜産野菜とのセット販売により、地産地消の拡大。
こどもやさい検定 プロジェクト	和賀 康子	親子で実施できるやさい検定の企画と開発。 親子での食体験の機会を盛り込み、子供の生きる力を育み親子のきずなを深め、地産地消への理解を深める。

■ 学校給食での市内産農畜産物の利用を促進しました

11月に、JA横浜及びJA田奈、市内の生産者と連携し、給食で使用するキャベツを小学校・特別支援学校327校に届けました。また、市内の小学生を対象に、市内産キャベツを使用した学校給食のメニューを募集する、「はま菜ちゃん料理コンクール」を開催しました。



【写真】JR東日本によるマルシェ（左）
山崎製パンによる新商品（右）



【写真】ビジネス創出支援育成講座



【写真】はま菜ちゃん料理コンクール
本選


3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績 - ウ 市民が実感できる緑をつくる

ウ 市民が実感できる緑をつくる

19 民有地における緑化の助成

- 緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行う市民・事業者に対し、緑化費用の一部を助成します。(一般助成)
- 緑の少ない鶴見、神奈川、西、中、南区における公開性や視認性のある緑化に対しては、上限額の引き上げや、維持管理費用の一部などにも助成します。(拡充助成)

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
	緑化の助成 (うち、拡充助成)	5件 (1件)	13件 65件

■ 屋上・地面緑化の費用の一部を助成しました。

市街地の良好な自然環境の創出や、ヒートアイランド現象の緩和のため、市内18区の市街化区域内にある建築物の屋上又は壁面の緑化を3㎡以上行う場合の助成(一般助成)に加えて、鶴見区、神奈川区、西区、中区及び南区における公開性や視認性のある屋上・壁面・地面の緑化で、生物多様性に寄与する緑化を10㎡以上行う場合には、助成の内容を拡充して緑化費用の一部を助成(拡充助成)しています。

今年度は、個人宅、集合住宅の屋上緑化4件、公開性のある地面緑化1件に対して助成を行いました。

<区別の実績>

区名	町名	件数
鶴見	鶴見中央二丁目	1
西	平沼一丁目	1
南	六ツ川二丁目	1(拡充)
保土ヶ谷	帷子町一丁目	1
磯子	西町	1




【写真】屋上緑化の事例
(西区平沼一丁目)



【写真】地面緑化の事例
(南区六ツ川二丁目)

20 建築物緑化保全契約の締結

- 緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行い保全することに対し、建築物所有者等の敷地に対する固定資産税・都市計画税を軽減します。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
	建築物緑化保全に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結	5件 (約 2.4ha)	制度運用

■ 協定を締結しました。

今年度は、個人宅2件、企業1件、集合住宅2件の計5件について保全契約を締結し、約2.4haの緑地が10年間保全されることになりました。固定資産税・都市計画税が軽減されるだけでなく、基準以上の緑化を行っていることが高く評価されたと、個人や企業の申請者から喜びの声が届きました。



【写真】保全契約の事例（個人宅）
（保土ヶ谷区川島町）




【写真】保全契約の事例（集合住宅）
（中区諏訪町）

<区別の実績>

区名	町名	件数
神奈川	鶴屋町二丁目	1
中	諏訪町	1
保土ヶ谷	川島町	2
旭	左近山	1

21 名木古木の保存

- 地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を保存すべき樹木として指定します。
- 指定木の維持管理に必要な樹木の診断や治療及びせん定等の維持管理費用の一部を助成します。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
	名木古木の保存 【新規指定】	19 本	推進
	【維持管理の助成】	51 本	推進

■ 名木古木保存事業

樹齢が概ね 100 年を超える樹木や、故事・来歴のある樹木を名木古木として指定・保存することで、都市の美観風致の維持に寄与しました。

また、名木古木に指定した樹木の診断、治療、せん定等の管理に助成金を交付し、樹木所有者の負担を軽減しました。

<区別の実績>

区名	新規指定	維持管理に 対する助成
神奈川	—	4 本
西	—	1 本
中	2 本	1 2 本
南	2 本	2 本
港南	—	3 本
旭	—	4 本
磯子	—	3 本
金沢	3 本	2 本
港北	6 本	3 本
緑	—	5 本
青葉	—	3 本
都筑	5 本	3 本
戸塚	—	2 本
栄	1 本	—
泉	—	2 本
瀬谷	—	2 本
【計】	1 9 本	5 1 本

<維持管理の助成の内訳>

診断	治療	管理
10 本	6 本	35 本


※名木古木の指定本数（平成 27 年 3 月末時点）
：1,003 本



【写真】名木古木指定樹木の事例
（イチョウ/金沢区富岡東五丁目）

22 人生記念樹の配布

- 人生の節目の記念に、希望した市民に対し苗木を無料配布します。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
	苗木の配布	7,752 本	40,000 本

■ 人生の節目を記念して、苗木をプレゼントしました

民有地緑化の普及・啓発を図るため、人生の節目の記念に、希望した苗木を無料で配布しました。

<申し込み対象となる記念>

出生、保育園・幼稚園入園、小学校入学、成人（20歳の誕生日）、就職、結婚、金婚（50年）、銀婚（25年）、賀寿（還暦や古希など7種類）、新市民（市外からの転入）、住宅の新築・購入、住宅の増改築

<配布実績>

区名	配布本数	区名	配布本数	区名	配布本数
鶴見	447本	保土ヶ谷	360本	青葉	981本
神奈川	347本	旭	729本	都筑	500本
西	210本	磯子	345本	戸塚	676本
中	162本	金沢	546本	栄	256本
南	196本	港北	495本	泉	307本
港南	382本	緑	459本	瀬谷	354本
【合計】 7,752本					





【写真】苗木配布の様子（神奈川区役所）



【写真】苗木配布の様子（港北区役所）

23 公共施設・公有地での緑の創出・管理

- 各区の主要な公共施設について、緑を充実させる取組を推進します。
特に、視認性が高く多くの市民が実感できる緑の創出を重点的に実施します。
- 充実を図った公共施設の緑について、良好に維持管理します。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
	緑の創出	16か所	7か所
	創出した緑の維持管理	95件	推進

■ 市が所管する公共施設・公有地を緑化しました

市庁舎（くすのき広場）や鶴見区、西区、保土ヶ谷区の庁舎など、多くの市民が利用する施設等を新たに緑化しました。

また、「横浜みどりアップ計画」により創出した緑を良好に維持するため、各施設において適切な維持管理が行われました。

<区別実績（創出）>

区名	施設名	施設数
鶴見	鶴見区庁舎	1
神奈川	三ツ沢せせらぎ緑道	1
中	市庁舎（くすのき広場） 関内本牧線	2
西	西区庁舎 みなとみらい3号線（けやき通り） 横浜市民ギャラリー 中央図書館	4
港南	東永谷地区センター	1
保土ヶ谷	保土ヶ谷区庁舎 保土ヶ谷バイオガーデン	2
旭	南希望が丘中央会こどもの遊び場 上白根大池公園こどもログハウス	2
磯子	磯子アベニュー	1
緑	森の台1号雨水調整池	1
青葉	奈良地区センター	1




【写真】事例（市庁舎/中区）



【写真】事例（保土ヶ谷区庁舎）

24 公有地化によるシンボリックな緑の創出

- 緑の少ない鶴見、神奈川、西、中、南区などを対象に、多くの市民の目に触れる場所で、緑豊かな公園を整備します。


◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5 年目標
	緑の創出	1 か所	5 か所

■ 土地利用転換の機会を捉えた用地取得

1 か所のシンボリックな緑の創出予定地（西区伊勢町/旧県職員住宅：約 4,000m²）を取得しました。今後、整備内容や管理運営について具体的に検討し、事業を進めていきます。

25 いきいきとした街路樹づくり

- 市民が目にする機会が多く、街並みの美観向上に寄与する街路樹を良好に育成するため、せん定などの維持管理を通常の維持管理に上乗せして実施します。
- 都心臨海部の街路樹や区の代表的な街路樹については、低木の刈込や除草などの管理をより充実させます。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5 年目標
	街路樹の計画的なせん定	18 区で推進 (160 路線)	18 区で推進 18 区で推進

■ せん定などの維持管理を実施しました。

街路樹を良好に育成するため、管理樹形図を作成し、樹種や路線の特性を考慮しながら、目標とする樹形とせん定方法をあらかじめ定め、計画的なせん定を実施しました。また、都心臨海部や各区の代表的な街路樹の植樹柵については、低木刈込、草刈や除草などの頻度をあげて行うことにより、より充実した管理を行いました。



【写真】高木せん定（戸塚区）（右：実施前）（左：実施後）



【写真】
植樹柵管理
（中区）
（上：実施前）
（下：実施後）

26 地域緑のまちづくり

- 地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民との協働で進めます。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
	地域緑化推進事業	22 地区 (新規：6 地区、 継続：16 地区)	46 地区 (新規6地区 継続16地区)

■ 新たに 6 地区と協定を締結しました。

平成 26 年度から、「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の皆様から緑化計画の提案を、公募する仕組みとしました。

募集にあたっては、まちづくりや緑化の専門家による計画づくりの支援を行い、選考の結果、6 地区の団体と新たに協定を締結し、緑化整備や活動の費用を助成しました。

<平成 26 年度取組地区一覧>

地区名	区名	協定締結 年度
<継続地区：16 地区> (着手順)		
生麦新子安地区	鶴見 神奈川	H24
山手地区	中	H23
馬車道地区	中	H23
白根台第九地区	旭	H23
上白根国際地区	旭	H23
名瀬たかの台地区	戸塚	H23
上飯田地区	泉	H23
みなとみらい 21 中央地区	西	H24
錦が丘地区	港北	H24
末広地区	鶴見	H24
平楽地区	南	H24
みなとみらい 21 新港地区	中	H25

地区名	区名	協定締結 年度
牛久保西地区	都筑	H25
北寺尾地区	鶴見	H25
みなとみらい 21 横浜駅東口・中央地区	西	H26
湘南桂台地区	栄	H26
<新規地区：6 地区>		
洋光台一丁目地区	磯子	H26
六ツ川・永田地区	南	H26
柿の木台地区	青葉	H26
竹山三丁目地区	緑	H26
金沢文庫 すずらん通り地区	金沢	H26
中原三丁目地区	磯子	H26
合計		22 地区

＜平成 26 年度取組状況＞

各地区では、地域の緑化計画に基づく緑化が進み、その地区ならではの緑のまちづくりが進むとともに、緑をテーマとした地域コミュニティ活動が盛んになりました。

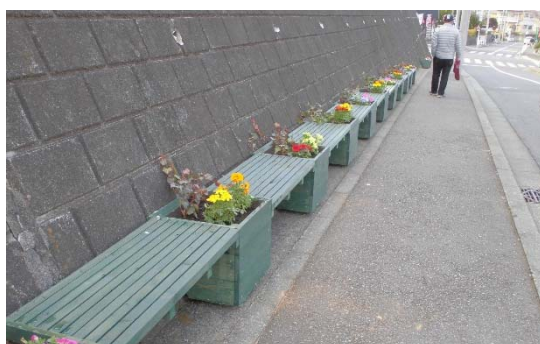
また、工場地帯では、事業所内のビオトープ整備や緑化が進むことで、緑のネットワークが形成されるとともに、生き物調査などの環境活動も盛んになっています。さらに、商業・業務地区では、店先や沿道に花を飾ることで、地区の賑わいづくりが進みました。



【写真】沿道緑化（栄区/湘南桂台地区）



【写真】沿道緑化（鶴見区/北寺尾地区）



【写真】沿道緑化（青葉区/柿の木台地区）



【写真】講習会の様子（旭区/白根台第九地区）





【写真】沿道緑化（港北区/錦が丘地区）



【写真】地域での花植え講習会の様子
（戸塚区/名瀬たかの台地区）

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

- 子どもを育む空間である、保育園、幼稚園、小中学校において、多様な緑を創出します。
- 芝生等を良好に維持するとともに、多様な緑化を一層推進するため、維持管理費用の一部を助成します。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
	緑の創出	50 か所	20 か所
	芝生等の維持管理	推進	推進

■ 緑の創出

校庭・園庭の芝生化に加え、ビオトープや花壇、樹木による植栽など、子どもたちが多くの時間を過ごす場所で、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑が増えました。

区名	市立小学校・ 保育園	民間保育所・ 幼稚園	区名	市立小学校・ 保育園	民間保育所・ 幼稚園
鶴見	2 か所	2 か所	金沢	2 か所	—
神奈川	2 か所	—	港北	—	3 か所
西	2 か所	—	緑	1 か所	2 か所
中	1 か所	1 か所	青葉	4 か所	—
南	6 か所	—	都筑	2 か所	3 か所
港南	3 か所	—	戸塚	3 か所	—
保土ヶ谷	2 か所	1 か所	栄	2 か所	1 か所
旭	—	1 か所	泉	1 か所	—
磯子	3 か所	—	瀬谷	—	—
			【計】	36 か所	14 か所

<実施内容ごとの内訳>

校庭・園庭芝生化	ビオトープ	樹木による植栽	花壇など
24 か所	7 か所	18 か所	12 か所

※複数の緑化を実施した施設があるので、か所数の合計は一致しません。

■ 芝生等の維持管理

平成 21 年度からのみどりアップ計画に基づき緑化した芝生や植栽の維持管理について、費用の一部を支援すると合わせて、芝生の維持管理についての技術講習会と専門家による訪問指導を実施しました。

- ・費用の一部を支援したか所数：100 か所以上
- ・芝生の維持管理についての研修会：3回
- ・専門家による訪問指導：32回

(2) 事業・取組の実績 - ウ 市民が実感できる緑をつくる



【写真】〔創出〕生き物が集まるピオトップができました（金沢区）



【写真】〔創出〕道路沿いを緑で彩りました（堺区）



【写真】〔創出〕園庭を芝生化しました（都筑区）



【写真】〔創出〕園庭を芝生化しました（緑区）





【写真】〔管理〕子どもたちと一緒に芝生管理のお勉強（泉区/中田小学校）



【写真】〔管理〕親子で芝生体験教室（港北区/日産スタジアム）

28 都心臨海部の緑花による賑わいづくり

- みなとみらい 21 地区から山下地区を中心とした都心臨海部で、緑花による魅力・賑わいづくりを進めます。
- いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街となるように、緑や花を良好に育てます。

◆平成 26 年度の実績		平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
	都心臨海部の緑花	6か所	推進
	緑花の維持管理	3か所	推進

■ 都心臨海部で緑花による賑わいづくりを進めました

みなとみらい 21 地区から山下地区を中心とした 6 か所で、緑のネットワーク形成を進めました。

実施か所
山下公園（中区）
アメリカ山公園（中区）
横浜公園（中区）
新港中央広場（中区）
港の見える丘公園（中区）
桜木町駅前西口広場（中区）



【写真】桜木町駅前西口広場の緑花（中区）



【写真】新港中央広場の緑花（中区）

■ 緑や花の維持管理を進めました

緑花の維持管理として、山下公園、グランモール公園、新港中央広場において、花壇の良好な管理を進めました。

実施か所
山下公園（中区）
グランモール公園（西区）
新港中央広場（中区）



【写真】グランモール公園の花壇の維持管理（西区）




【写真】山下公園の花壇の維持管理（中区）

エ 効果的な広報の展開

29 市民の理解を広げる広報の展開

- 市民の皆さまのご理解とご協力を得ながら横浜みどりアップ計画（計画期間：平成 26-30 年度）を推進するため、様々な媒体を活用しながら、計画や取組成果の広報・PR を進めます。計画を所管する環境創造局と「横浜みどり税」を所管する財政局が連携し、財源（税）と使途（事業）の両面から市民に周知します。
- 「みどりアップ月間」を設定し、集中的な広報を実施します。
- これまでに実施した広報手法について検証し、より効果的に広報を展開していくため、『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』を実施します。

◆平成 26 年度の実績			平成 26 年度 目標	<参考> 5か年目標
	計画の目的、内容及び進捗状況を実感していただけるよう、多様な手段で広報活動を推進	推進	推進	推進

■イベントなどによる広報

<イベント出展による PR 活動>

- ・よこはま花と緑のスプリングフェア 2014（平成 26 年 4 月 11 日～4 月 13 日）
- ・環境行動フェスタ 2014（平成 26 年 6 月 14 日）
- ・子どもアドベンチャー2014（平成 26 年 8 月 19 日～8 月 20 日）
- ・みどりアップ月間 2014 期間中の各種イベント（平成 26 年 10 月～11 月に多数開催）
- ・野毛山動物園 第 10 回 動物たちの SOS 展（平成 27 年 3 月 14 日～3 月 15 日）
- ・金沢動物園開園感謝祭（平成 27 年 3 月 21 日）
- ・SATOYAMA & SATOUMI へ行こう 2015（平成 27 年 3 月 28 日～3 月 29 日）

など



【写真】よこはま花と緑のスプリングフェア 2014 の様子



【写真】環境行動フェスタ 2014 の様子



【写真】子どもアドベンチャー2014 の様子

3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績 - エ 効果的な広報の展開

<展示によるPR活動>

- ・グランモール公園内クロスパティオの期間展示
- ・市内全区役所にPRパネルの掲出
- ・市庁舎市民広間での展示
- ・図書館での企画展示

■区役所、他局と連携した横浜みどり税の広報

- ・市連会・区連会での実績説明（環境創造局、各区税務課）
- ・イベントへの共同出展（環境創造局、財政局税務課）
- ・横浜みどり税PRチラシの配布（財政局税務課）
- ・個人市民税納税通知書、税額決定通知書に案内掲載（財政局税務課）
- ・法人市民税申告書送付時にチラシ同封（財政局税務課）
- ・各区区民祭りでのブース出展（各区税務課）



【図】広報よこはま
(市版：9月号)

■各種媒体を活用した広報

<広報誌等への掲載>

- ・広報よこはま
(市版特集ページ：平成26年5月号、9月号)
(区版：都筑区版8月号、戸塚区版9月号、港北区版9月号)
- ・季刊誌「みどり」(平成26年春号、秋号)
- ・かんきょう横浜
(平成26年7月号、9月号、平成27年3月号)
- ・よこはま農委だより(平成26年4月号、11月号)



【図】平成21～25年度の実績
概要リーフレット

<リーフレット・チラシ・報告書>

- ・平成21～25年度の実績概要リーフレット(140,000部作成)
- ・5か年(平成21年度～平成25年度)の事業・取組の評価
- ・平成25年度事業報告書

<メディアを活用した広報>

- ・横断幕の掲出
市庁舎、動物園、水再生センター、ウェルカムセンター等に掲出
- ・市営バス、公用車等へのPR用マグネットシートの貼付掲出(約4000枚配布)
(平成24年11月～)
- ・TVKハマナビでの「みどりアップ」特集
- ・ニッポン放送でのPRCM
- ・横浜みどりアップ計画メールマガジンの発行
(月2回、1日と15日に発行)
- ・ツイッターを活用したイベント告知



【写真】横断幕掲出の様子

<事業実施場所でのPR>

- ・事業実施場所での現地表示



【写真】地域緑のまちづくり事業
での現地表示の様子

■みどりアップ月間

横浜みどりアップ計画と横浜みどり税に対する市民・法人へのPRを推進するとともに、緑の保全・創造に対する市民協働の輪を拡げながら、活動団体、土地所有者等を含めた市民共通理解の促進を図ることを目的として、みどりアップ月間を設置しています。

<概要>

【期間】 毎年10月～11月

【主な内容】

- ・集中的な広報によるPRの強化
鉄道・バスなどの交通広告、苗木配布、クラフト教室、ポスター掲示、各種パンフレット・チラシの発行など
- ・みどりアップ月間のコアイベントの実施
農と緑のふれあい祭り
- ・イベント相互間の連携による相乗効果の発揮
よこはま森の楽校、よこはま食と農の祭典2014、みなとみらい農家朝市収穫祭等



【写真】みどりアップ月間チラシ

<主なイベント実績>

日付	イベント名	内容	開催場所
11月3日(月・祝)	農と緑のふれあい祭り	野菜収穫体験、自然素材の工作教室、音楽のステージイベントなど、横浜の緑や農業を身近に感じられる様々な催し物を開催。 (参加者：約13,000人)	保土ケ谷区 児童遊園地、 環境活動支援センター
11月9日(日)	寺家ふるさと村ガイドツアー	寺家ふるさと村内のガイドツアーを実施。	青葉区寺家ふるさと村
11月15日(土)	よこはま食と農の祭典2014	「地産地消」の推進を目的に、横浜の農業に関するクイズや地元食材を使った逸品の試食、農家による市内産野菜などの販売を実施。 (参加者：約6,000人)	西区 みなとみらいクイーンズ サークルほか
11月23日(日)	みなとみらい農家朝市収穫祭	市内産の野菜・果樹・加工品などの販売。	西区 高島中央公園
	よこはま森の楽校	地域特性をいかした環境教育の一環として、みどりに親しむワークショップを市内の大学生などが実施。(参加者：約2,400人)	西区 みなとみらいクイーンズ サークルほか
11月29日(土)	みどりアップ健康ウォーキング「ほどがやの自然観察ウォーク」	植物など自然に関するレクチャーを受けながら、市内の豊かな自然を楽しむウォーキングイベント。	保土ケ谷区



【写真】よこはま森の楽校



【写真】みなとみらい農家朝市
収穫祭



【写真】みどりアップ健康ウォーキングの様子

3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績 - エ 効果的な広報の展開

■ 交通広告を活用した広報

平成26年度は、特に若年層を中心により幅広い層に取組をPRするため、みどりアップ月間に合わせ9月～11月にかけて集中的に交通広告を活用した広報を実施しました。

< 掲出実績 >

市営地下鉄

- ・ブルーラインはまりん号貸切車内ポスター（平成26年10月28日～11月10日）
- ・ブルーライン横浜駅ホームドア（平成26年10月28日～11月10日）
- ・ブルーラインLED広告（平成26年10月28日～11月10日）
- ・グリーンライングリーンビジョン映像放映（平成26年10月1日～11月30日）
- ・グリーンラインドア横車内ポスター（平成26年10月7日～11月17日）

市営バス

- ・パートラッピングバス（平成26年9月1日～11月30日）
- ・バス車内ポスター(窓上広告)（平成26年9月30日～12月1日）

京浜急行

- ・中吊りポスター（平成26年10月31日～11月2日）

相模鉄道

- ・中吊りポスター（平成26年9月28日～10月28日）

みなとみらい線

- ・駅貼りポスター（平成26年11月）

シーサイドライン

- ・駅貼りポスター（平成26年10月、11月）



【写真】パートラッピングバス



【写真】はまりん号貸切
車内ポスター



【写真】グリーンビジョン

■ マスコットキャラクターの作成

市民の皆様へ、より横浜みどりアップに親しんでいただけるよう、マスコットキャラクターの作成を進めました。今後、広報誌やイベント等で活用していく予定です。

- ・デザイン募集（平成26年8月20日～10月10日）
- ・デザインの市民投票の実施（平成27年1月20日～2月13日）
- ・愛称募集（平成27年3月20日～4月17日）

【図】横浜みどりアップのマスコットキャラクター



■ 『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』の実施

実施した広報手法について検証し、より効果的に広報を展開していくため、『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』を実施しました。

(1) 調査の概要

目的： 「横浜みどりアップ計画」及び「横浜みどり税」を市民の皆様にご存知いただくための広報の方法や、市民の皆様の緑の取組への関心を検証し、今後の取組及びその広報を検討するために実施。

調査の対象： 市民 5,000 人（住民基本台帳から無作為に抽出した満 20 歳以上の市民）

実施期間： 平成 26 年 12 月 1 日（月）から 19 日（金）まで

回収数等： 1,449 票（回収率 29.0%）

設問： 「横浜みどりアップ計画を知っているか」「横浜みどり税を知っているか」「何で知ったか」「市の情報を得る手段」など 10 問

(2) 主な調査結果**①「横浜みどりアップ計画を知っているか」**

「取組内容を知っている」6.3%、「計画があることを知っている」14.5%、「名称を見たことや聞いたことがある」21.7%、合わせて 42.5%。

②「横浜みどり税を知っているか」

「税の目的や税額を知っている」9.7%、「税があることを知っている」29.9%、「名称を見たことや聞いたことがある」8.3%、合わせて 47.9%。

③「何で知ったか」

- ・「広報よこはま等の広報誌」が 53.3%。
- ・「市からの税金の通知等」が 35.4%。

④「市の情報を得る手段」

- ・「広報よこはま等の広報誌」が 72.8%。
- ・「自治会・町内会の回覧」が 41.3%。
- ・30 代以降は「広報よこはま等の広報誌」、「自治会・町内会の回覧」で市の情報を得る割合が高い
- ・20 代は「電車及び駅の広告」、「バスの広告」で市の情報を得る傾向が強い。

(3) 今後の対応等

調査結果を踏まえ、引き続き、広報よこはま等での情報提供をさらに進めること、自治会・町内会の回覧は目を引く工夫をすること、イベントを通じて PR することなど、より積極的に取り組んでいきます。

本調査については、27 年度以降も毎年度実施します。

3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績 ー エ 効果的な広報の展開

